

高温に強くおいしい水稲品種「なつほのか」を作付けしましょう

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

水稲は、夏の高温下で穂が実ると白くにごった粒（白未熟粒）が発生し品質が低下しやすくなるため、吉岐地域では高温に強い品種である「にこまる」、「つや姫」の作付けを推進しています。また、上記品種に加え、平成30年からは高温に強く、高収量と高品質による所得向上が見込まれ、味もおいしい新品種「なつほのか」の作付けを推進しています。

「なつほのか」は従来品種より作付期間が短く、冬作の麦や園芸品目に組み合わせやすい品種です。水田の有効利用に向けて、水田裏作とセットでの作付けをご検討ください。

「なつほのか」の特徴及び作付イメージ

品種名	移植期	出穂期	成熟期	玄米重 (kg/10a)	収量比 (%)	玄米品質
なつほのか	6/16	8/16	9/24	579	106	上の中
ヒノヒカリ	6/16	8/23	10/4	546	100	中の上
なつほのか(吉岐産)	6/21	8/19	9/30	599		

H25～29年長崎県農林技術開発センターデータ・H29年吉岐(分施肥体系)データより



作付けパターン例

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	麦類	準備	なつほのか			準備	麦類	
2	にんにく	準備	なつほのか			準備	にんにく	
3	玉ねぎ	準備	なつほのか			準備	玉ねぎ	
4	準備		なつほのか			準備	ブロッコリー（収穫2月中旬～3月上旬）	

家畜排せつ物（堆肥）の管理・利用について

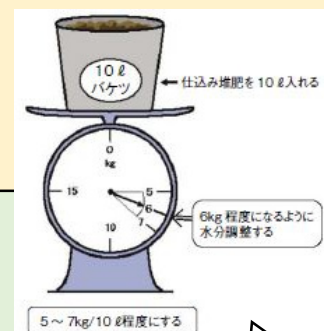
お問合せ先
農業振興普及課
0920-45-3038

牛ふん等（家畜排せつ物）は適正に管理しないと、臭いやハエ発生の原因となります。管内でも畜産環境に関する問い合わせが毎年でており、畜産農家をはじめ管理者の皆様におかれましては、今一度、堆肥の管理についてご確認をお願いします。

管理のチェック項目

【家畜排せつ物法の管理】

家畜排せつ物は**堆肥舎**もしくは**堆肥盤の上に覆い**を設けて管理している。特に屋根の無い堆肥盤は降雨による流出防止のため、ビニールシート等で被覆が必要です。
管理施設の床にはコンクリート等の**不浸透材**を用いている。
畑等での長期保管は地下浸透の原因となります
堆肥舎や堆肥盤の**定期的な点検**を行っている。
破損等があれば修繕しましょう



【堆肥の利用】

堆肥は**適量**を施用している。
飼料作物栽培では、**原物 2 t /10a**が目安です。
施用した堆肥は**速やかにすきこみ**を行い、作付けを行う。
臭いやハエの原因になりますので施用後は速やかにすき込みましょう

堆肥の水分調整について

良質な堆肥をつくるには、通気性が確保できる比重調整が必要です。副資材（オガクズやバーク等）と混ぜて調整を行いましょう。

堆肥がバケツ
10Lでの重さ
6.5kgが目安